

柏ビレジ自治会便り

2022/4月号

# 柏ビレジ・ニュース

2022年4月23日

柏ビレジ自治会発行

自治会事務局（自治会館）

TEL 04-7132-1925

FAX 04-7132-1965

柏ビレジ自治会ホームページ <https://kashiwa-village.com/>

## この1年間を振り返って

自治会長 シュピンドラー千恵子



今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で、自治会員の皆様の安全を最優先とし恒例イベントは全て中止とさせていただきます。特に今年は、オミクロン株の猛威により、自治会内や近隣小中学校においても感染者が確認されましたので、より一層注意を払いながら、自治会運営に取り組みました。大人数になる役員会は、開催スペースがないので書面開催としましたが、部長会は感染対策をしながら毎月開催し、今年度の事業計画を推進して参りました。ウィズコロナにおける新しい運営スタイルが定着してきたように思います。

また、永年気になっていた増え続ける書類の電子化に取り組み、紙保存をデータ形式でクラウドに保存する仕組みを構築し、会議室の予約を手書きから電子化にし、自治会会員のデータベースシステムを本格的に運用するなど、ITに強い事務局長のもと、事務局のデジタル化を更に進めました。

そして、今期から着手しているランドデザイン計画を実行に移しました。未来まちづくり部ランドデザイン推進プロジェクトが中心となり、今年度の重点課題、コミュニティバスの導入、24時間訪問介護看護サービスの導入、水辺の公園リニューアルを進めるにあたり、内部会議はもとより、柏市関係各課にて打ち合わせを重ねて参りました。2月に市長を訪問し、ビレジの将来について意見交換を行うことができたのは、実現のための大きな進展につながると期待しています。

また今年は、ゴミ問題、近隣との摩擦、迷惑駐車等の身近なクレームが多く寄せられました。苦情や要望を申し出る方には所定の手続きをしてもらい、役員ができるだけ対応しておりますが、残念ながら匿名の苦情に対しては、申し出の方と事実関係や詳細の確認が取れませんので苦情処理はお受けできません。迷惑駐車等、危険と思われるものは直接警察にご相談頂きますようお願い致します。

なお本年度最後に、柏ビレジの持続可能なまちづくり活動を県の「ちばSDGsパートナー登録制度」に申請し、3月23日付で正式に登録されましたことをご報告致します（登録番号767）。柏ビレジの住み続けられるまちの実現（ランドデザインの実現）の取り組みは千葉県ホームページ等で紹介されますので、活動を後押ししてくれるものと信じています。

今年度も大変忙しい1年でした。試行錯誤しながら新しいことにご一緒に挑戦し、ご協力下さいました諸団体関係各位、会員の皆様、役員の皆様の皆様のご理解、ご協力に深く感謝申し上げます。

### 「ちばSDGsパートナー制度」に登録



「ちばSDGsパートナー制度」の登録証を持つ自治会長

## 市の「個別避難計画作成モデル事業」に指定

副会長 森田 幸次

「個別避難計画」とは、災害などの緊急時に自力で避難することが困難な高齢者や障害者等の「避難行動要支援者」ごとに作成する避難支援の計画です。2019年台風19号等の近年の災害においても多くの高齢者・障害者の方々が被害に遭われた状況を踏まえ、2021年の災害対策基本法の改正により、災害時の避難支援を実効性のあるものとするために個別避難計画を作成することが市町村の努力義務とされました。

当自治会は「人生最期まで住み慣れた柏ビレジの我が家で暮らしたい」を合言葉に、24時間対応の「定期巡回随時対応型訪問介護看護サービス」の導入を昨年1月にパブリックコメントで柏市に申し入れたところであり、モデル事業への指定は非常にいいタイミングです。

自治会は今回の指定の前から、福祉・健康部と未来まちづくり部を中心に防災部の協力を得て、ビレジに75名おられるK-net対象者にアンケートを実施し、①避難先までの移動方法の確認・準備、②避難先でも適切な医療・福祉サービスが受けられる福祉避難所等の開拓、③ペットも一緒に避難できる避難所の確保、④アプリを使って避難完了を柏市に連絡する準備——に取り組んできました。

今後、柏市と役割分担をして個別避難計画を作成し、それに基づく避難訓練等を展開していきたいと考えています。計画作成にあたっては、民生児童委員の方々や北柏交通、桜スカイホテル柏などの関係先に協力いただくことで快諾を得ました。

また、新年度はこのほか、ほくほくセンター（柏北部地域包括支援センター）の協力を得て、住民向け研修会（認知症サポーター養成講座、フレイル予防講座、講演会等）を定期的に行っていきます。併せて、本年度改選の民生児童委員の増員（6名を7名に）、自治会行事および自治会・委員会組織の業務の見直し、役員・委員の就任免除方法の確立、逆に元気な高齢者・若者・子どもたちが参加できる仕組み作りに取り組んでいきたいと思っています。

## ランドデザインに携わって

未来まちづくり部長 横堀 正枝

未来まちづくり部の部長を拝命し、はや1年が過ぎようとしています。この間、柏ビレジランドデザインの理解に追いつくのに精一杯であったと同時に、実際に携わってみないと分からないことが多くあると実感した一年でもありました。

ご存知のように、柏ビレジランドデザインとは柏ビレジが目指す将来像である「全ての世代に優しい持続可能な街」の実現に向けた中長期的構想のことですが、その実現のためには、現在ビレジが内包している様々な問題を解決するための課題解決的施策が求められると同時に、「人々が積極的に住みたくなる街」へと変革を遂げるための未来志向的な取り組みも大切になると考えています。

そこで現在、交通不便および福祉・医療における対策に取り組むと同時に、水辺公園の段階的リニューアルを検討しております。様々な世代のニーズに応えられるように検討をしており、例えば「コミュニティバス」の導入は、運転免許証を返納された高齢者層への交通対策のみならず、子どもたちの通学手段としても有用となるルートや運行ダイヤ、乗車料金案等を協議しています。また「定期巡回随時対応型訪問介護看護サービス」の導入は、介護を必要とされる高齢者層だけでなく、40代、50代を中心とした親の介護を行う側にある年代においても安心なサービスであると考えております。さらに「水辺公園リニューアル」は貴重な自然を損なうことなく、その魅力を最大限に活かし、幅広い年齢の人々や身体が不自由な方も安心して楽しめる公園とすることで、

ビレジの新たな魅力につなげていきたいと考えております。

このような施策は自治会が単独で進めることはできず、現在、柏市の協力のもとで「都市再生整備計画」を作成している段階です。特に水辺公園リニューアルに関しては、先般、住民の皆様のご協力を得て実施したアンケートの結果を一つでも多く反映させられる計画を目指しております。

最後に、私なりに都市再生について学ぶうちに「街は生き物である」と感じるようになりました。生きているということは、つまり「変化を続ける」ことであるとも言え、その変化の目的は「環境への適応」であろうかと思えます。かのダーウィンは「種の起源」で進化に関して「生き残る者は強い者でも賢い者でもなく、変化できる者である」という考えを示したとされます。超高齢化社会への突入に加え、新型コロナウイルス感染症で生活が翻弄される日々がやってくるなど誰にも想像できなかったと思えますが、同様の事態がこの先も形を変えてやってくるかもしれないと考えた時、新たな環境に適応する街として変化していくことを前向きに捉えることが大切ではないかと思えます。

柏ビレジ自治会が発足し間もなく40年を迎えます。私はビレジ開村当初の様子を知らないのですが、今日のように成熟した街へと発展してきた背景には、これまで多くの方が愛情を込めてビレジを見守ってくださってくださったご苦労があることと思えます。住民の皆様の手によって守られてきたビレジを後世に引き継ぐための街づくりを実現していきたいと思えますので、皆様のあたたかいご協力とご理解のほどよろしくお願い致します。

## 大雨による利根川増水をウォッチ

■防災部

世界的な気候変動の影響か、近年は国内各地で豪雨による被害が多発しています。柏ビレジ近隣でも2019年（令和元年）10月の台風19号で利根川が増水し、田中調節池（河川敷）の貯留水量が急増して避難準備が勧告されるなど、十分な警戒が必要になっています。

こうしたなか、流域を管理している国土交通省の利根川上流河川事務所によって、ビレジに隣接する「寺下前樋管」に新たな量水標が設置されました。令和元年台風19号の際の最高水位と、堤防まで1m、堤防の高さにそれぞれ対応する黄色や赤のパネルが設けられています。また、柏市が管轄している「張間内樋管」についても同様の量水標が設置されました。いずれも増水時の水位を確認し、警戒や避難など必要な行動につなげる判断をするためのものです。



張間内樋管の量水標



寺下前樋管の量水標

さらに、国土交通省はビレジに隣接する田中調節池右岸の周囲堤に簡易型のライブカメラを設置し、画像を公開しています。自治会ホームページの「ワンストップ防災情報」にあるリンク「田中調節池（利根川）の水位監視ライブカメラ（簡易型）」から国土交通省の「川の水位情報」のページを開き、カメラのアイコンをクリックすると、ライブ画像を閲覧できます。緊急時の状況把握にご利用ください。



水位監視ライブカメラ

## 侵入窃盗被害と防犯パトロールについて

防犯部長 川下 明

令和3年度自治会活動も残りわずかとなりました。改めて1年を振り返り、防犯部として気掛かりな事柄についてお話ししたいと思います。それは柏ビレジ内の住宅侵入窃盗被害の増加です。柏警察署発表によれば、柏ビレジを含む花野井・大室地域で令和3年1～12月の1年間で6件発生しました。柏ビレジ内では更に今年に入り既に2件発生しています。地域件数は令和元年が3件、同2年は4件なので増加の一途です。小青田や船戸等を含む田中地区全体では11件と、残念ながら市内全域でもワーストスリーにランクインです。

警察署盗犯係刑事に伺った話では、柏ビレジはプロ窃盗犯が狙いやすい格好の住宅地の一つと思われる。その最大理由は昼夜を通じ域内の車と人の通行量が圧倒的に少ないこと。中心道路から一筋入れば昼でも車はもちろん、人通りもわずかで人目に付き難いこと。閑静な住宅地の長所が弱点ということなのです。

侵入窃盗犯への対策は、各家庭での施錠強化はもちろん、防犯カメラや防犯ガラス、警告ブザーの設置等が効果的ではありますが、それなりに費用も掛かります。そこで窃盗犯に「ここは白昼の盗み仕事はやりにくそうだ」と思わせる工夫、環境作りを何とかできないものだろうかと思案します。

先日、市内各町会自治会の情報交換会があり、他会の防犯活動状況を知る機会が

ありました。ある町会では自主パトロールを散歩とゴミ拾いと位置付け、通年で平日昼のほぼ毎日1時間、数名単位の域内巡回を永らく続けておられ、その効果か空き巣被害はほぼなくなった。参加メンバーの高齢化と固定化傾向が今後の課題だそうで、課題はどこも同じとは思いつつ、見習うべきものがあると感じた次第です。

柏ビレジ自治会恒例の夏冬夜間防犯パトロールはコロナ禍対応として2年連続で中止せざるを得ませんでした。しかし夏冬の2ヶ月だけでは窃盗犯への牽制は到底期待できそうにありません。この行事は住民間のコミュニケーションを深める意味もありますが、窃盗犯牽制策としては、柏ビレジでも通年平日日中のパトロールを実現できないかと考えます。拍子木も懐中電灯も不要、各支部ごとに有志最低3名程度が都合の良い日に手ぶらで集まり、支部内を1時間ただ散歩する。参加者が多い日はグループを増やし巡回範囲を分割する。荒天時は当然中止——これなら自治会役員も参加する住民にも負担が少なく、健康維持目的で気軽に参加することで長続き可能ではないかと考えます。重要なことは、柏ビレジはいつも誰かがうろついている厄介な街だ、と窃盗犯が感じてくれること。そうなれば儲け物です。

来期役員の方には一度ご検討いただき、住民の皆さん方のご理解とご協力によって柏ビレジの侵入窃盗被害件数が減少に転じればと期待しているところです。

### Let's enjoy playing tennis!

## ～柏ビレジテニスコート利用のご紹介～

柏ビレジテニスクラブ 2022年度部長 松尾 樹



テニス愛好家、テニスを始めたい貴方へ、まずクイズです。

柏ビレジ(KV)テニスコートは有料？  
柏ビレジテニスクラブ(KVTC)員でないと利用できない？ 予約制？  
小学生の子供は一緒にプレーできない？  
⇒全てNo! です。

以下、柏ビレジ近隣公園内のテニスコートの利用方法をご紹介します。

1. 利用時間 9時から18時(10月～3月は17時)

2. 利用日と要領

①柏ビレジ自治会員利用日(KVTC員でなくても自治会員なら利用可)

火・木・土曜日、第2・第4・5日曜日、及び12月30日～1月3日

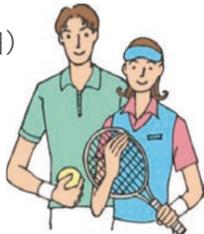
無料。予約制等は無く、利用者間で調整下さい。なお、テニススクールやテニス大会等で利用できない日時もあります。テニスコート入り口横の掲示板でご確認下さい。

②一般開放日(柏ビレジ自治会員以外の柏市民の方の優先利用日)

月・水・金曜日、第1・第3日曜日

(ただし12月30日～1月3日を除く)

無料。事前予約制で柏市民の登録団体・個人が優先されます。ただし柏ビレジ自治会個人の方も、第3週火曜から翌月の空き枠に対し、1週間に2時間1枠に限り予約可能です。KV自治会館で開館日の10時から11時に予約を受け付けています。予約方法・利用要領の詳細はコート入り口横の掲示板をご覧ください。



3. 利用者 満16歳以上の方。ただし16歳未満かつ小学生以上の方でも16歳以上の方の同伴があればプレー可能です。

4. 利用規則 テニスシューズの着用、使用後のテニスブラシによるコート整備など。詳しくはコート内に掲示されている「利用規則」をご確認下さい。

5. KVテニスコートの管理 柏市から柏ビレジ自治会が管理業務を受託し、KVTCが運営しています。コートの利用についてはお気軽に自治会館窓口あるいはKVTC役員へお尋ね下さい。KVTC役員の連絡先は掲示板をご覧ください。

### <柏ビレジテニスクラブのご紹介>

KVTCは約80名の会員が在籍しテニスのプレーや会員交流を楽しみ、四半期に一度のダブルス大会(3月の自治会長杯は自治会員参加可)、柏市市民大会参加や忘年会などを開催しています。初心者大歓迎! 70歳でテニスを始めゴルフの飛距離が伸びた強者も。健康年齢を伸ばしましょう。Why not join us! お申込み・お問い合わせはKVTC役員へ。年会費は1,000円!

### <テニススクールのご案内>

①火曜テニススクール

(有料、プロコーチによる講習。火曜9時～14時の間に1時間半3枠)

②KVTC主催のKV自治会員向け夏期講習会

(毎年6月毎週土曜9時～11時、保険料等実費として1,000円程度負担)

③KVTC熟練者による初心者向け練習会

(土曜9時～11時、ボール代のみ自己負担)

いずれもKV自治会員の参加が可能です。申し込み方法はコート入り口横の掲示板をご覧ください。

## 新生「子ども部」の1年 子ども部部长 岡田 小央里

令和3年5月に、子育て世代のメンバーで構成され、自治会・子ども部としてスタートした活動も1年が過ぎました。コロナ禍で思うように集まることができず、メンバー間の連絡もLineに頼るため、決して充分ではありませんでした。手探りの初年度の活動で、メンバーも思うように力を発揮できなかったことと思います。

しかしそんな中でも、従来の子ども会の活動に固執せず、「いま子ども達が必要とする自治会活動とは何か」そして「子育て世代に求められている自治会活動とは何か」について、バックグラウンドの異なるメンバー間で意見を出し合うことはできたように思います。

私が印象的だったのは、若い子育て世代が世代の異なる先輩達との交流を敬遠せず、むしろ歓迎していたことでした。「子育てをする上で、地域全体で子どもを見守ってくれる暖かい環境や、親戚でも何でもない近所の方が自分の子供を名前と呼んでくれたり『おはよう』『お帰り』と声を掛けてもらえる環境は素晴らしい」「お菓子作りや将棋、昔遊びなど様々なことを教わり体験できるワークショップも是非やって欲しい」と言うのです。

4月に実施した「進級おめでとうイベント」では、商店街の協力はもちろん、会場の「はなみずき」や「アイビーサロン」において、関係者の皆様にご協力いただき、メンバーの地域への意識も更に高まったと思います。

「面倒な人間関係のない、駅前の便利なハイスペックなマンション」などを好む人が少なくない子育て世代の中で、「老いも若きも子どももみな寄り集まって暮らし、互いの得意な部分をうまく提供しながら支えあっていけたら良い」とする人が意外にも多く、こうした人と人との繋がりが「柏ビレジならではの魅力」になるのではと、しみじみ感じた1年でした。

子育て世代は女性も男性も育児や学校等の役員の持ち回りのほか、家事に仕事にと日々時間に追われていますが、様々な世代の皆さんと一緒に自治会活動ができたことは、非常に有意義でした。

新設の子ども部の活動をバックアップして下さった自治会本部の皆様にも感謝します。貴重な週末の時間等を活動に割いて積極的に動いて下さったメンバーの皆様、本当にお疲れさまでした。私達の活動を受け入れて支えて下さった地域の皆様、お世話になりました。心から御礼申し上げます。

## 第41回 柏ビレジ自治会総会について

本年度の総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、前年度と同様に書面での議決を行うことといたします。つきましては、会員の皆様には

### 令和4年4月30日(土)必着にて、書面表決書を各班長まで

お届けいただきますようお願い申し上げます。議案の票決については、提出された書面表決書で賛成が過半数となった場合に可決といたします。ご多忙のなか恐縮ではありますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### ごみネット等購入補助金の基準を変更

■ 環境部

2022年5月より、ごみネットなどの購入に対する補助金の基準を変更します(後日、回覧を予定)。同じごみ集積所を利用している戸数が集積所によって大きく異なるなどの事情をふまえ、より合理的で不公平感のない仕組みとするのが目的で、変更点は以下の3つです。

①補助の対象(ごみネットなどの種類)は、ごみ集積所利用グループの自由な選択とする

②補助金は購入金額の80%(ただし上限は40,000円)

③新規購入からの使用経過期間の条件は廃止

なお、新規購入とは別に「修理費」の実費補助を2021年度から実施しています。こちらについては、①新品価格の25%程度(=現在の修理費に相当)以内であること、②購入・前回の修理からごみネットは2年、ごみBOXは4年以上経過していること、を一応の目安としています。補助の申請およびお問い合わせは事務局まで。